

「木に親しむプレゼント事業」  
贈呈式を開催しました

10月7日(月)、揖斐川町役場で、「木に親しむプレゼント事業」贈呈式を開催しました。

これは、新生児が森林資源に触れ、親しみと楽しさを体験してもらうことを目的としたもので、以前から町内幼児園に木のおもちゃをプレゼントされている北方在住の折戸勝哉さんが、今回の趣旨に賛同され、町内産のスギを使って「本立て」、「積み木」を製作されました。

富田町長は、「身近にある木の暖かさを感じながら遊び、すくすく成長してほしい。」と挨拶し、新生児の親子に木のおもちゃを贈呈しました。

なお、今回のプレゼント事業は4月から6月までに生まれた新生児の親子が対象であり、今後も継続して贈呈していきます。



▲贈呈式に参加された新生児親子

アトいびがわ2019を  
開催しました

10月18日(金)～20日(日)の3日間、地域交流センター「はなもも」で揖斐川町総合芸術祭「アトいびがわ2019」を開催しました。

展示部門では、町内外から絵画・写真・書道・盆栽・絵手紙・文芸などの多彩な作品が展示されました。それぞれの部門では優秀な作品が選ばれ、表彰を受けました。

20日(日)は、邦楽芸能舞台「令和を寿ぐ」を開催し、文化協会会員による発表の他、揖斐川町出身の三味線奏者、矢吹兄弟らによる公演も行われ、多くの来場者を楽しませました。展示部門の主な表彰者は次のとおりです。

【美術部門】町展賞

〈洋画〉柴原数雄〈書道〉高木雲峰  
〈彫塑工芸〉細野孝雄〈写真〉対馬めぐみ

【文芸部門】特選

〔一般の部〕

〈短歌〉野下由紀子・大野由美子  
〈俳句〉高橋紀雄・林清翠〈川柳〉清水明・小川正記〈連歌〉高松正夫・小里幸剛

〔小学生の部〕

〈短歌〉高野更紗・増田柚希〈俳句〉服部花音・宮川桃子・佐野茉衣花・大野真嗣・浅野紘希・岡部留奈・長柄夏季・岸里帆・宗宮果音・細野知里

〔中学生の部〕  
〈短歌〉矢野由芽・藤田琉那・久保田月子・牧村菜々子・林杏樹〈俳句〉渡辺翔和・青木鈴奈・鳥澤善龍瀬翔一朗・河合花佳・野原健太郎・若原ゆい・大橋未奈・小川萌々子・杉山海月  
(敬称略)



いび川クラシックカーミーティング in  
TANIGUMIが開催されました

10月20日(日)、谷汲山華厳寺の参道と観光駐車場一帯において、『いび川クラシックカーミーティング in TANIGUMI』が開催され、多くのクラシックカー愛好家が賑わいました。

この催しは、谷汲門前ミーティング実行委員会が谷汲門前地域の活性化のため、歴史ある谷汲山の参道や町並みと、同じく歴史のあるクラシックカーを融合させたイベントで、今回で3回目の開催となりました。

ミーティングには、1932年製のフォード「モデル18」をはじめとした昭和の名車や、ランボルギーニ「カウインタック」をはじめとしたスーパーカー等、約90台のクラシックカーが参道や駐車場に展示され、出展者や来場者約10,000人が生バンドの演奏を聴きながら、車に関する熱い思いを語り合い、写真撮影などで交流を深めていました。



▲会場で語り合い、交流を深める出展者と来場者

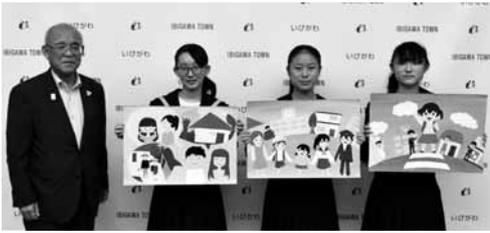
## 全国地域安全運動ポスター コンテストに入賞しました

10月28日(月)、揖斐川町役場公室で、岐阜県警察本部などが主催する全国地域安全ポスターコンテストに入賞した揖斐川中学校の生徒3人が、富田町長に受賞報告を行いました。

同コンテストは小学生、中学生、高校生、一般の3部門で行われ、中学生部門の金賞に、林茉莉香さん(2年)、銀賞に、小川萌々子さん(3年)、銅賞に、名和凜々子さん(3年)がそれぞれ受賞しました。

富田町長は、「3人とも地域の子どもを見守っている様子がよくわかる作品で、皆さんの思いが伝わってきます。これからも地域の人に、見守り活動を呼びかけてください。」と挨拶しました。

受賞、おめでとうございます。



▲受賞した林茉莉香さん、小川萌々子さん、名和凜々子さん(左から)

## 叙勲(旭日双光章)を受章 されました

8月7日に亡くなられた田中壽さん(胥水)が旭日双光章を受章され、富田町長よりご家族へ伝達が行われました。

田中さんは、昭和58年10月から平成17年1月までの永きにわたり旧揖斐川町議会議員として在職され、平成11年10月から1年間と、平成14年10月から平成16年8月まで町議会議長として、平成3年10月から1年間を副議長として、議会の円滑な運営に尽力されました。

また、総務委員会委員長、民教委員会委員長、建設委員会委員長等の要職を歴任され、町の振興発展に多大な貢献をされました。

これらの生前の功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙勲の伝達が行われました

## セントジョージマラソン 派遣団体験報告

10月2日(水)から10月9日(水)までの8日間、いびがわマラソンで優秀な成績をおさめたランナーの皆さんがマラソン交流事業の派遣団としてセントジョージ市を訪れ、セントジョージマラソンに出場しました。

出場された皆さんの報告書の一部を抜粋して掲載します。

■総合男子優秀ランナー 鈴木聖夫さん  
今回、3年ぶり2度目のセントジョージ訪問となりました。

天気にも恵まれ、前回より良いタイムでゴールすることができましたが、満足のいく結果ではなかったため、3回目のセントジョージマラソンに向けての意欲が高まっています。

このような機会を2度も与えてくださった揖斐川町、いびがわマラソン関係者、セントジョージの方々にお礼申し上げます。

■総合女子優秀ランナー 馬淵裕子さん  
初めてセントジョージマラソンを走らせていただきました。コースは難しく今まで経験した事のない痛みが15キロ過ぎからあり、最後まで走れる心配でしたが、4位という順位とベストタイムを出すことができました。

ホストファミリーの方も本当に素敵な方で料理も美味しく楽しく過ごすことができました。

またホストファミリーの方に会える

よう練習頑張りたいです。

■町内男子優秀ランナー 林彪斗さん  
貴重な体験をたくさんさせていただきました。

ホストファミリーは、携帯のアプリで積極的に意思疎通を図ってくださいました。おかげで楽しいホームステイになりました。

マラソンでは、下り坂のコースです。とても負担がかり、ゴール後はしばらく動かせませんでした。いびがわマラソンの記録よりも大幅に更新することができたので良かったです。

■町内女子優秀ランナー 小森和恵さん  
慣れない環境、ランナーとして最高齢で、不安と緊張がありました。

想像以上にアップダウンのある長い坂が続き、足に負担がかかる難しいコースでした。朝日が昇り真っ青な空と雄大な景色を見ながら、アメリカらしいパワフルな応援にも助けられ、元気に楽しく完走できました。

ホストファミリーは大家族で、忙しい中温かく迎えてくれました。とてもすばらしい体験ができたことに感謝しています。

